

## 収穫祭で収穫体験に挑戦!

岩の原葡萄園

日本の赤ワイン用ブドウ代表品種「マスカット・ペーリーA」をはじめ多くの優良品種を生んだ「日本のワイン葡萄の父」川上善兵衛が創業したワイナリー。9月30日と10月1日には収穫祭が開催され、収穫体験やステージイベントなどを楽しめる。(10:00~15:00・無料・シャトルバス運行あり)

上越市北方1223  
TEL.025-528-4002  
開園:9:30~16:30(見学・試飲の受付は~16:00)  
休み 1~2月の日曜、年末年始、3月特定日  
※レストラン営業時間など詳細は要問い合わせ  
交通:北陸自動車道上越ICから車で約15分/JR直江津駅からタクシーで約30分。上越妙高駅からタクシーで約25分  
<http://www.iwanohara.sgn.ne.jp>



## 上越が生んだ「酒の博士」 坂口謹一郎と酒造りを知る

坂口記念館  
「酒の博士」として知られる応用微生物学の世界的権威・坂口謹一郎の業績を展示。また酒造り道具と酒造り文化を紹介。上越の地酒の代表銘柄や、頸城杜氏の造る酒の一部は試飲・購入も可能。

上越市頸城区鷺ノ木148 TEL.025-530-3100  
開館:10:00~16:00(12月中旬~2月中旬は土・日曜・祝日のみ開館)  
休み:月曜(祝日の場合は翌日)、休日の翌日、年末年始  
入館料:酒造り館300円(中学生以下無料)  
交通:北陸自動車道柿崎ICから車で約20分、または上越ICから車で約20分/JR上越妙高駅から車で約30分  
<http://www.city.joetsu.niigata.jp/soshiki/kubiki-ku/kubiki-hajime.html>



## 地酒と“メイドイン上越”の 食品や菓子を販売

道の駅 よしかわ杜氏の郷

「吉川杜氏」の伝統を受け継ぐため1999年に誕生した蔵元。ガラス越しに酒蔵見学ができる。ショップでは試飲ができ、酒粕パウダーなど酒関連商品や地元特産品などを販売。米麴を使ったジェラートも人気。10月1日(日)には「越後よしかわ酒まつり」を開催。

上越市吉川区杜氏の郷1  
TEL.025-548-2331  
開館:9:00~17:00  
休み:月曜(祝日の場合は翌日)  
交通:北陸自動車道柿崎ICから車で約10分  
<http://www.yoshikawa-touji.co.jp>



吉川杜氏の歴史などの展示もある。ショップで購入できる「天恵楽」は人気銘柄

●お問い合わせは 大潟観光協会 TEL.025-534-4465 <http://www.o-kankou.com>

## 浜の「隠れ家」で味わう 地酒と和洋の創作料理

浜人 (はまんど)

旬の素材を多彩にアレンジした料理が評判。地酒の種類も豊富だ。時期により上越市産「越の丸なす」など珍しい食材を使用した料理も提供する。落ち着いた雰囲気の隠れ家的居酒屋。



上越市柿崎区上下浜426  
TEL.025-536-4002  
営業:18:00~23:00 ※3日前までに要予約  
交通:北陸自動車道柿崎ICから車で約10分/JR上下浜駅から徒歩約10分  
<http://www.sadomitel.com>



## 紅葉を眺めながら快適ウォーキング

新潟県立大潟水と森公園

「歴史ゾーン」、「野鳥観察ゾーン」、「潟の里ゾーン」など7ゾーンに分かれた広大な県立公園。四季折々の自然が美しい。隣接した鶴の池と朝日池の2つの大きな池には多くの水鳥が飛来する。丸山古墳なども見ることができる。

上越市大潟区潟町1381  
TEL.025-534-6190  
交通:北陸自動車道柿崎ICから車で約15分/JR潟町駅から徒歩約10分/高速バス潟町バス停から徒歩約5分  
<http://ogata.greenery-niigata.or.jp>



汐彩の湯 みかく 若女将  
近藤くに子さん 新潟清酒「銅の達人」  
2012年に「銅の達人」取得。「たくさんは飲みませんが日本酒は大好き。資格を取得して知識も深まり、お客さまに微妙な味や香りの違いを説明しやすくなりました」



汐彩の湯 みかく  
露天風呂付きの温泉大浴場のほか、屋上にはさら湯の「日本海展望ジャグジー」もある。地酒は常時20種類以上を用意。注文しやすく、少しずつ楽しめるよう2合瓶も揃える。特別本醸造の地酒3種類付きセットも好評  
上越市大潟区九戸浜239 TEL.025-534-2434  
交通 北陸自動車道大潟スマートICから車で約5分/JR潟町駅から徒歩約15分  
「にいがた地酒の宿」プランはP11



「にいがた地酒の宿」地域参加の詳細はP15参照

2017年9月から18年の3月末まで、参加旅館やホテルそれぞれがロビーなどで地酒3種類とおつまみを大人1人500円で提供。予約は不要。上越の全12歳の試飲をした人には、オリジナルプレゼントを贈呈する。全12歳制覇を目指す。「汐彩の湯みかく」では「黒バイ貝の煮物」や自家製塩辛など、酒に合う小鉢を提供している。



「上越酒巡りin  
鶴の浜温泉街」を  
楽しもう!

新潟清酒「銅の達人」でもある「汐彩の湯みかく」女将の近藤くに子さんに、鶴の浜温泉と周辺エリアの楽しみ方を教えてもらった。

鶴の浜温泉の5軒の宿は「にいがた地酒の宿」に参加しているが、他に地域独自の取り組みとして秋冬期間、「上越の酒蔵めぐりin鶴の浜温泉街」を開催。「温泉でリラックスしたあとは、参加している旅館やホテルをはしごして、上越の酒蔵それぞれのお酒を楽しんでいただきたいですね」と近藤さん。

またこのエリアは「ウォーキングや散歩にぴったりの場所がいっぱい」と話す。「大潟水と森公園」をはじめ、「夕日の森展望台」や小川未明作「赤いろうそく」と人魚のモデルと言われる人魚伝説の碑がある「人魚伝説公園」が点在する海岸をのんびり歩く人も多い。「大潟水と森公園」までは宿から無料送迎サービスもしている。

酒造りに関しては「学べみやげも買える」「坂口記念館」や「よしかわ杜氏の郷」、また町家や雁木が残る城下町の風情が漂う高田エリアや、地ワインのワイナリー「岩の原葡萄園」も訪れたいスポットだ。